

竹原市立学校の働き方改革推進宣言

学校の働き方改革については、全国的に喫緊の課題となっており、平成31年3月18日には柴山昌彦文部科学大臣から以下のメッセージが出されているところです。

竹原市教育委員会、竹原市小学校長会、竹原市中学校長会及び竹原市PTA連合会は、別紙の宣言を基に、竹原市立学校の働き方改革を一層推進することといたしました。

御理解と御協力をよろしくお願い申し上げます。

《保護者・地域の皆さまへ》 ～学校の働き方改革へのご理解・ご協力をお願いします～

いま、社会全体で働き方改革が進められていますが、学校の働き方改革は特に待ったなしの状況です。

皆さまのお住まいの地域の学校は、毎日どのような御様子でしょうか。朝は子供たちが登校する前の7時すぎから子供たちを迎えるための準備を始め、夜は職員室の明かりが20時前までついていて、土日もグラウンドや体育館で部活動をやっている、これは全国の小・中学校の平均的な姿です。一人一人の子供たちと丁寧に向き合いたいという思いから、毎日時間に追われて働いているため、先生は他の職業と比べてストレスが高いというデータもあります。

「そのくらいなら、自分の方が働いている!」「忙しいのは先生だけみたいなこと言わないで!」。皆さまから、そんな声が聞こえてくるかもしれません。ですが、働き方改革が必要なのは先生を楽にするためではありません。学校が、子供たちの未来に直結する場所だからです。

御存じのとおり、これから大きく社会が変わろうとしています。今でもパソコンやスマホ、外国人との仕事や交流など、私たちが子供だったときには、取り巻く環境が違ってきています。学校は、子供たち一人一人がそんな未来をたくましく生き抜く力を身に付ける場所であってなりません。きちんと文章が理解できる力、答えのない問題に対し、自分で考え、仲間と協力して取り組む力、知らない人に自分の意見を正確に伝える力、そして英語やプログラミングなど、しっかり子供たちに身に付けさせなくてはなりません。

学校の働き方改革は、これまでの先生の働き方を見直し、毎日元気に子供たちの前に立って未来につながる力を育む教育を行うために必要なものなのです。先生には、授業やその準備をはじめとした先生にしかできない教育活動に全力投球していただきましょう。

お住まいの地域の学校でも、これから『朝の登校時間を改める』『夜は学校も留守番電話を設置する』『部活動の時間を見直す』『子供の補導時は基本的に保護者に対応いただく』といった取組が始まります。

こうした中、地域全体で子供たちによりよい教育環境を実現するため、学校・家庭・地域が教育目標を共有し、それぞれ何ができるか考え、連携・分担することが重要です。例えば、保護者や地域の方々などがサポート・スタッフや部活動指導員、ボランティアとして学校に参加する、土日の地域行事や登下校時の見守り、夜間の見回り等は地域が主体的に担うといった取組をこれまで以上に進めていただくことも考えられます。特に、PTAに期待される役割は大きく、学校や地域との役割分担を話し合い、共通理解を得ながら、活動を充実することが大切です。

未来を担うのは子供たちです。子供たちのために我々みんなで取り組んでまいりましょう。子供たちの教育をますます良くする、そのための学校の働き方改革にご理解をいただき、ご協力をお願いいたします。

平成31年(2019年)3月18日
文部科学大臣 柴山昌彦

竹原市立学校の働き方改革推進宣言

～竹原市教育委員会・竹原市小学校長会・竹原市中学校長会・竹原市PTA連合会～

竹原市立学校では、「地域とともにある学校」を目指し、児童生徒の確かな学力・豊かな心・健やかな体の育成に取り組んでおります。

一方で、文部科学省が平成28年度に実施した教員勤務実態調査では、学校での勤務時間が「過労死ライン」を上回る教諭が小学校で33.5%、中学校で57.7%という結果が出るなど、全国的に教職員の長時間勤務が大きな問題となっています。

竹原市内の学校においても、所定の勤務時間を大きく超える時間外勤務や部活動・行事などによる土日・休日出勤など、上記の全国調査とほぼ同様の多忙な実態があり、教職員の長時間勤務の解消は喫緊の課題です。

こうした中、竹原市教育委員会・竹原市小学校長会・竹原市中学校長会・竹原市PTA連合会では、「児童生徒に接する時間や授業を磨くための時間を十分に確保し、教師が毎日子供たちの前で生き生きと教壇に立ち、効果的な教育活動を持続的に行うことができる環境を作ることが必要である」という思いを共有し、今後、相互に連携し、より一層の働き方改革を推進することとしました。

これまでに、竹原市では、会議や行事の精選、定時退校日や部活動休養日の設定、夏季一斉閉庁の実施などに取り組んでまいりましたが、今後はより質の高い教育を実践できる環境を作るため、各学校の状況を踏まえながら次のような取組を進めてまいります。

- 来校者への対応終了時刻（原則18時）の設定
- 電話対応終了時刻（原則18時）の設定
- 部活動の指導や引率等を行う部活動指導員の配置促進
- 「部活動ガイドライン」に基づく適切で効果的な練習時間の設定
(週当たり2日の休養日及び長期休業中の休養期間の設定、合理的で効果的な活動時間)

また、竹原市PTA連合会は、各学校と連携して、教職員が一人一人の児童生徒としっかりと向き合える教育環境の実現に向け、学校の取組を支援してまいります。

保護者の皆様におかれましては、学校の働き方改革に向けた取組の推進について、より一層の御理解・御協力を賜りますようお願い申し上げます。